

第2回全世帯アンケート

「家具転倒防止に取り組みたい」が5割を占める

今年度第2回役員会を開催し、第二回全世帯アンケートの分析と今後への生かし方や、取り組みなどについて協議を行いました。

南海地震に関心有りが98.9%

アンケートは7月26日から8月17日にかけて、実施をし、提出世帯が96世帯となっており、回収率は昨年と比較して実質で21.5ポイント増加しています。

また、関心の度合いも、「凄くある・多少ある」が98.9%を占めるなど昨年以上に関心が高まっています。各家庭で行う備えも、昨年と比べて数多く行われつつあり、徐々に進みつつあるところと見えます。

その中で、なかなか進みにくいのが家具転倒防止の取り組みで、支援をしてくれる人がいれば行いたいという方が、5割近くにのぼっていることが明らかになりました。

これらのことも踏まえて、第2回防災講演会では家具転倒防止を中心に実践セミナー形式で行うこととしました。そして、このセミナーを踏まえた上で、今後の取り組み方について、協議することとしました。

また、「必要とする支援内容」については、個人情報として特定される場合がありますので、公表はしないこととしています。しかし、支援内容や要援護者の内訳については、地震発生時の情報として活用されなければ、意味がありませんので、当面の間、会長、副会長、管理人のみで保管するのとしします。

今後は、個人情報の取り扱いを定めた上で、情報の管理方法を検討することとしました。

ただし、支援内容として本来は自らが備えるべき「水、食料、情報の提供」を求める記載も多くありましたが、これらについては自らで備えていただくことの周知を図っていくこととします。



各班の役割と取り組みの補強を

継続して協議課題となっている各班の役割と活動の内容補強についての協議も行いました。

これまでの協議で、「消火班」では、「マンション内の消火設備のチェックリスト作成とチェック」「二次災害防止の心得帳作成」。「避難誘導班」では「非常階段、はしごの点検」「自宅装備の啓発」「非常時における救出救護班との連携」などが補強されています。

今回、「救出救護班」において「要援護者の情報については、毎年更新とするため、変更有りの方に申し出を要請」「新規入居者は、入居の際に届け出に協力してもらうよう要請」「救出救護の際に必要な備品のリストを作成・整備」「近隣の対応可能医療機関の告知」などを当初案に補強することとしました。

議論が残った情報班と給食給水班は次回の役員会で行うこととします。

各戸の南海地震対策も一歩ずつ前へ

(アンケート集計表から)

	07年		06年		比較
	回答数	割合	回答数	割合	
問1 南海地震にどの程度関心があるか。	計96	83.5	計75	62.0	21.5
凄くある	51	53.1	36	47.4	5.7
多少ある	44	45.8	33	43.4	2.4
あまりない	1	1.0	6	7.9	-6.9
問2 防災訓練に参加したことがあるか。					
はい	55	57.3	48	63.2	-5.9
いいえ	39	40.6	27	35.5	5.1
問3 行っている南海地震対策は。					
① 家族で、発生時の取り決めをしている。	20	20.8	11	14.5	6.3
② 非常持出し袋等防災グッズを用意している。	37	38.5	29	38.1	0.4
③ 南海地震関連情報は意識的に収集している。	28	29.2	18	23.7	5.5
④ 寝室に落下物はないようにしている。	59	61.5	40	52.6	8.9
⑤ 部屋の中にヘルメットや靴を置いている。	12	12.5	5	6.6	5.9
⑥ 身近に、懐中電灯やラジオの用意をしている。	71	74.0	52	68.4	5.6
⑦ 断水に備えて飲料水の確保などを行っている。	51	53.1	35	46.1	7.0
⑧ 家具の固定など家具転倒防止をしている。	21	21.9	18	23.7	-1.8
ア タンスや本棚などの固定。	16	16.7			
イ 食器棚など台所の転倒防止。	13	13.5			
ウ テレビやパソコンなど卓上家電の固定。	3	3.1			
エ 窓ガラスなどの飛散防止。	1	1.0			
オ その他()	0	0.0			
問4 家具転倒防止は、支援者がいれば、行うか。					
はい	47	49.0			
いいえ	26	27.1			
特に対策をしたい箇所はどこですか。					
① タンスや本棚などの固定。	25	26.0			
② 食器棚など台所の転倒防止。	26	27.1			
③ テレビやパソコンなど卓上家電の固定。	8	8.3			
④ 窓ガラスなどの飛散防止。	29	30.2			
⑤ その他()	0	0			
計 人	210				
70才以上の方 人	27				
就学前のこども 人	6				

前回アンケートと同様の項目について、比較可能なものは対比させています。なお、回答数の割合は、オーナー世帯を差し引いたものを分母としてしていますので、ご了承下さい。

また、問5「地震が発生した場合に、必要な支援の内容の記載」については、個人情報に関する内容も多く、公表していません。

問6 今年度の防災学習会で取り上げる講演テーマは何が良いか。

- ・自主防災会に多くの方が参画できる手段・方法について。
- ・「マンションにおける自主防災活動」できれば被災体験者から。
- ・マンション内での助け合い。トイレ問題。
- ・マンションの中で普段考えられない実際に起こった被害などについて。
- ・マンションの揺れについて。
- ・前回の南海地震の際の下知地区の状況。
- ・下知地区の浸水予測とか対策について。
- ・地下の活断層や津波の時にどこまで水が上がってくるか。
- ・救急時の怪我の対処方法など。
- ・怪我の応急手当法。防災備蓄品について。
- ・家庭で常備しておける保存食品について。
- ・個人で準備できることについて。
- ・最低限の自己を守るグッズをなるべくコンパクトにして持てれば良いと思うので、軽量グッズについて紹介を。
- ・家具転倒防止防止や家庭内の備えなど。
- ・天井近くにあるクーラーの落下を止めるにはどうすれば良いか。
- ・防災に関する意識を高めるテーマであればよい。
- ・ペットは飼っていないが、犬が怖いです。地震の時にペットがどのようなようになるか心配です。
- ・上層階で火災が発生して、はしご車などがあてにできない場合の生き残り法。
- ・災害時の情報。

問7 災害への備えや自主防災会の活動に役立つようなことについてのアドバイス。

- ・マンションの構造診断を是非お願いします。
- ・会員が関心を持ってもらうためのパネル展。マンション内の災害現場など。
- ・南海地震に備えチョコキのポケットサイズ版を。避難所、避難路、消火器設置場所、災害伝言ダイヤルなどを掲載したものを作成したら。
- ・会社で地震講習会がありますので、資料はお返しします。
- ・自分一人でも助けられる手段。一に家族二に隣人。慌てないこと。
- ・私自身全く無防備に近い状態です。具体的な備えについて周知を図ってください。
- ・居住地以外で被災した場合の自主防災会との連絡方法や誰の指示に従うのか。
- ・救助用ステッカー扉の裏に貼ってます。心強いです。



最低3日分の個人備蓄を

大地震直後、行政機関は、救命活動を最優先に行い、すぐに物資の支給や避難所の運営を行えないことも想定されます。また、水道、電気、ガス、交通網などが長期間ストップすることも予想されます。被災直後は物資の入手が困難になると考えて、食料や水は「自分の命は自分で守る」を基本に、個人で備蓄してください。最低3日以上、孤立が予想される地域では1週間分の食料や水を、すぐに取り出せる場所に備蓄しておきましょう。

日ごろから食料や水（1日1人3リットルが基準）は一定量を買いだめしておき、使った分だけ補充していくと、無理なく一定量の食料や水を確保できます。日常生活でできる備蓄を心掛けましょう。備蓄食料は工夫して取りそろえ、味が濃くのどが渴かないか、口に合う味かなど、試食して確かめておきましょう。

第2回防災講演会を開催します。

ふるってご参加を！

「揺れへの備え－家具転倒防止を中心に」実践セミナー

10月6日（土）午後6時～8時 集会室

講師 楠瀬淳司氏（マルニ防災アドバイザー）



家具転倒防止については、アンケートでも示されたように、支援者がいれば取り組みたいという方が5割近くいることや今年の事業計画の柱にもなっていることから、家具転倒防止の実践セミナーを開催することとなりました。

講師には、防災出張教室で引っ張りだこのマルニ防災アドバイザーの楠瀬さんをお願いしてあります。

特に、希望の多い「窓ガラス飛散防止フィルムの張り方」の実演や張ったガラスを実際に割ってみたり、実際に食器棚を持ち込んで固定したりとさまざまな実演を織り交ぜてのセミナーとなります。決して、市販の転倒防止グッズを

購入しなくても、各家庭にある針金一つでできることもアドバイスしてくださるようです。是非多くの方にご参加いただき、自分でできることから始めていただきたいと思っております。

なお、当日の実演に必要な材料準備のため、あらかじめ参加者数が必要とのことですので、参加申し込みと合わせてご案内させていただきますのでよろしく申し上げます。

ご案内

高知新聞の「地震新聞」連載でおなじみの都司先生のお話が身近に聞けます。滅多にない機会です。ぜひご参加を！

下知南地区津波防災検討委員会主催

「南海地震講演会」講師 東大地震研究所 都司嘉宣准教授

9月23日（日）午後6時30分～

昭和小学校体育館

★当自主防災会の今年度の「防災・避難訓練」については、起震車を使う関係上、08年3月9日（日）に開催することをすでに決定しましたので、あらかじめお知らせしておきます。